

その他の野菜の需給・価格動向について

(きゅうり、さといも、トマト、なす、ねぎ、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう)

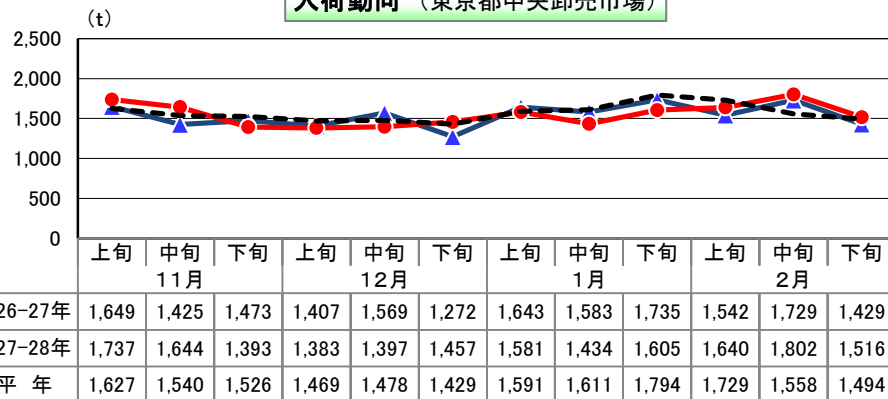
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量と価格」

注：平年とは、過去5か年（平成23～27年）の旬別価格の平均値である

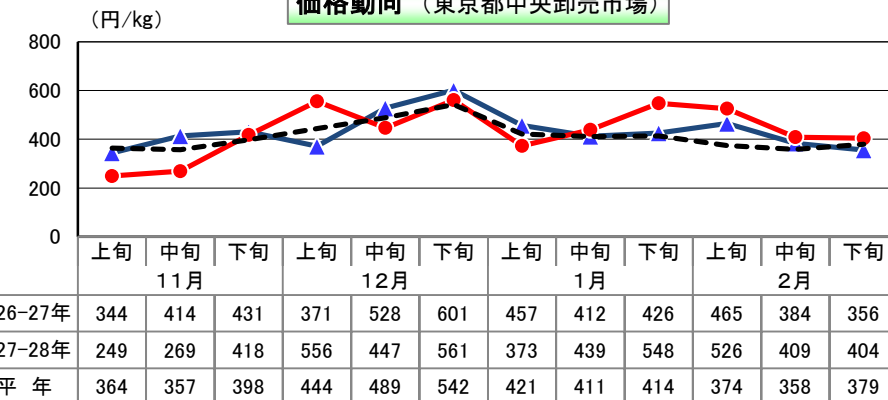
【きゅうり】（主な産地：宮崎、千葉、高知）

- 入荷量は、期間を通して、概ね前年及び平年と同様の動きとなった。その中で、11月上中旬は、天候に恵まれた関東産が順調に生育し、前年を上回って推移した。1月は宮崎産の着果不良、高知産や千葉産では日照不足で生育不良により平年を下回って推移した。
- 価格については、11月は入荷が順調であったことや、前月までの安値が中旬まで影響し前年及び平年を下回って推移した。12月上旬は前月からの上げ基調が続き平年を上回った。1月下旬以降は入荷の減少もあり総じて高値基調となり平年及び前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



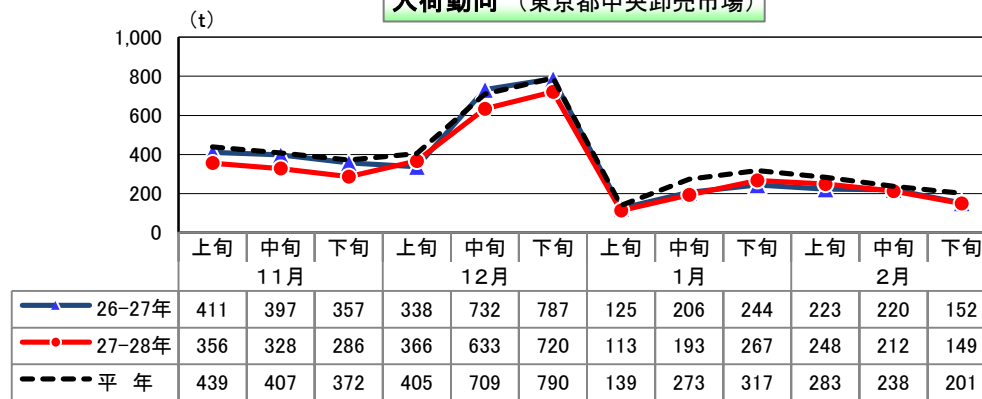
価格動向（東京都中央卸売市場）



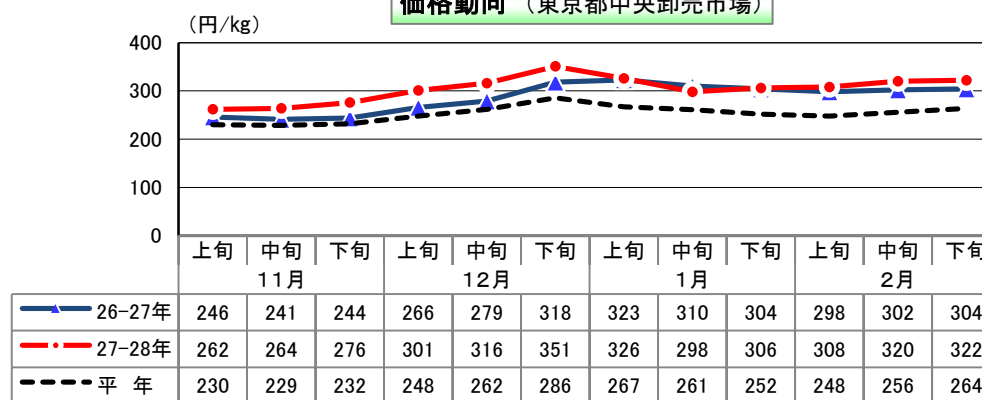
【さといも】（主な産地：埼玉、千葉）

- 入荷量については、11月は埼玉産が天候不順で生育が遅れ、平年を下回って推移した。12月は出荷のピークを迎えたが、他品目の収穫を優先したことなどから少なめの入荷となり平年を下回って推移した。1月以降、埼玉産は貯蔵物の計画的な安定出荷であったが、その他の産地が前年を下回ったことから、概ね前年並みで推移し、平年を下回って推移した。
- 価格は、11月以降、入荷量も少なく旬を追うごとに上げ基調となり、前年を上回った。1月以降も高かった前年並みで推移したことから、期間を通して平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



価格動向（東京都中央卸売市場）



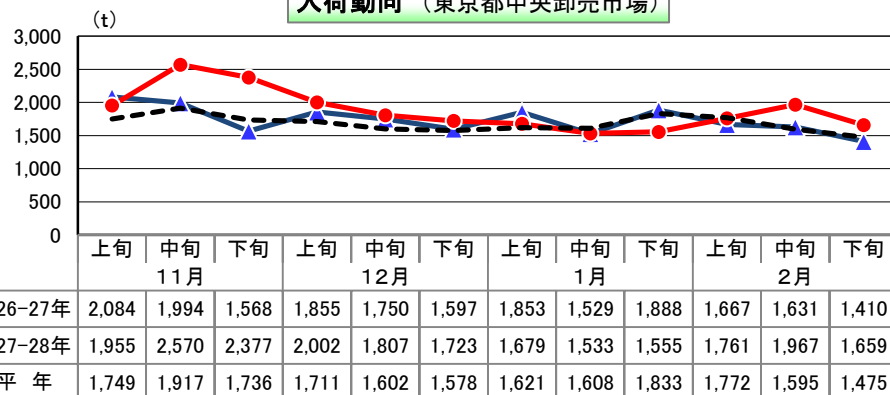
【トマト】（主な産地：熊本、愛知、栃木）

- 入荷量については、11月は主産地が好天に恵まれたことなどから、前年及び平年を上回って推移した。1月は、熊本産の着果不良、愛知産の前進出荷や成り疲れの影響等から前年を下回って推移した。2月は熊本産を中心に天候に恵まれ順調な入荷であったことから、前年及び平年を上回って推移した。
- 価格は、11月中旬から12月にかけて、主産地からの潤沢な入荷により、前年及び平年を下回って推移した。1月から2月上旬にかけて、主産地において低温や日照不足などの影響から入荷が伸び悩んだことから、前年を上回って推移した。

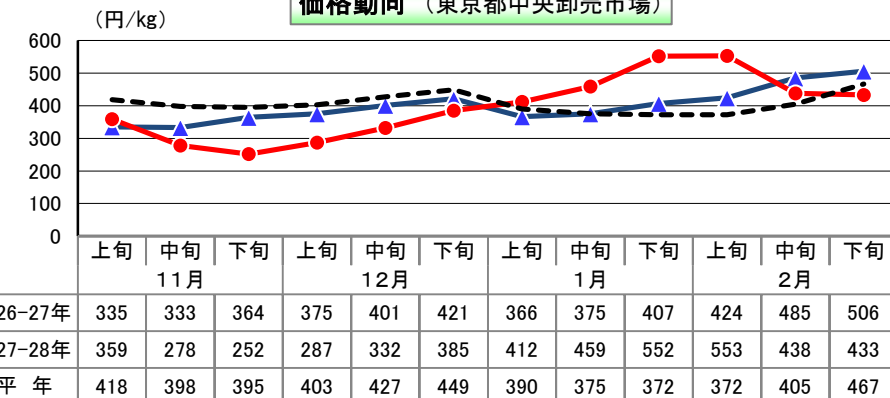
【なす】（主な産地：高知、福岡）

- 入荷量については、11月は主産地において天候に恵まれ順調な入荷となったことから、前年及び平年を上回って推移した。12月の下旬には、福岡産において、低温による肥大不足で少なかった前年を上回ったものの、1月は高知産の日照不足や、福岡産の病害の発生もあり前年及び平年を下回って推移した。2月は、天候に恵まれて前年を上回って推移した。
- 価格は、11月から12月にかけて、緩やかな上げ基調で推移し、11月下旬を除き概ね前年及び平年並みで推移した。1月後半は、福岡産において入荷量の減少に伴い前年を上回ったが、その後は生育も回復して、前年並みで推移した。

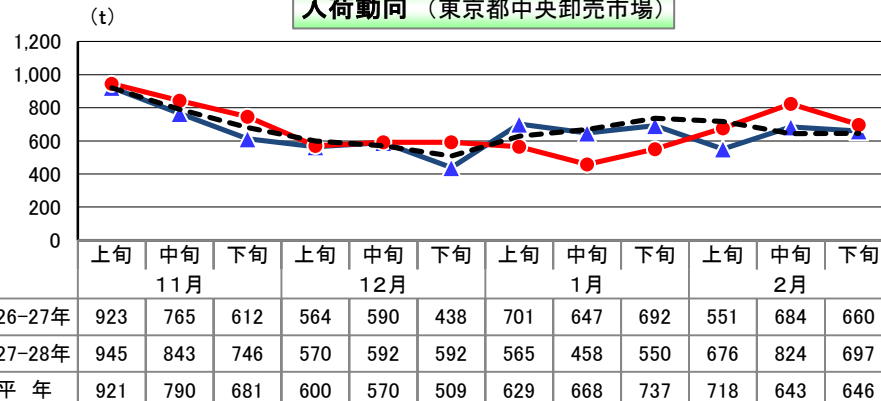
入荷動向（東京都中央卸売市場）



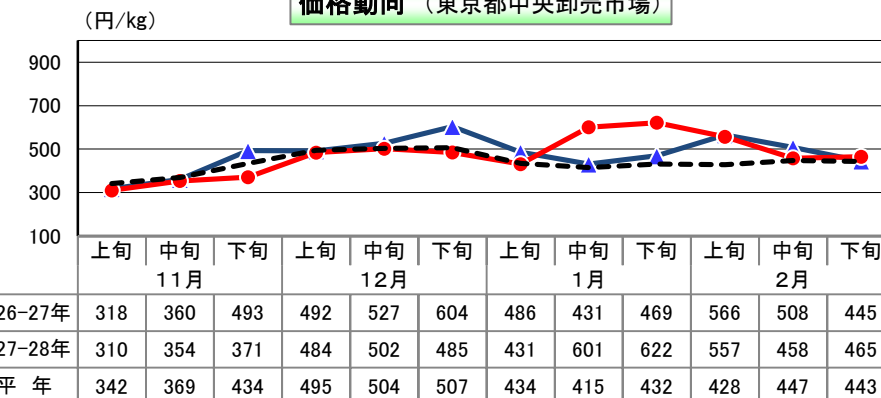
価格動向（東京都中央卸売市場）



入荷動向（東京都中央卸売市場）



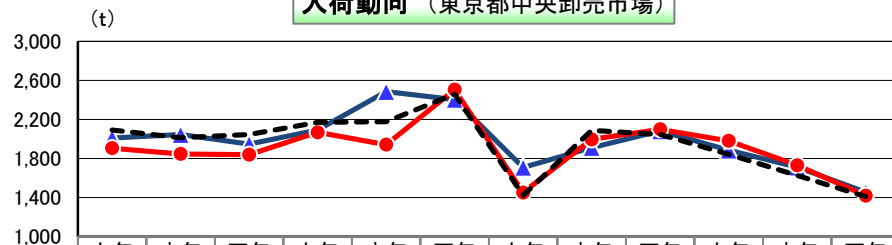
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ねぎ】（主な産地：千葉、埼玉）

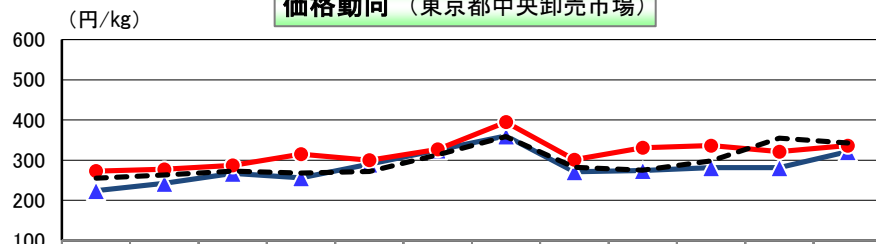
- 入荷量については、11月は青森産のピークが過ぎ旬を追うごとに減少し、秋田産は定植後の干ばつなどにより、前年及び平年を下回って推移した。12月中旬は、千葉産において、大雨や強風による葉折れなどにより一時的に前年を下回った。1月上旬は、概ね平年並みであったが生育が順調であった前年を下回った。その後は、概ね平年並みで推移した。
- 価格は、期間を通して高値基調で推移したことから、概ね全ての月で前年及び平年を上回った。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
26-27年	2,011	2,045	1,949	2,091	2,485	2,405	1,710	1,913	2,083	1,885	1,712	1,456
27-28年	1,907	1,848	1,840	2,068	1,943	2,505	1,452	1,996	2,100	1,982	1,731	1,420
平年	2,092	2,014	2,046	2,170	2,178	2,458	1,424	2,089	2,047	1,845	1,627	1,412

価格動向（東京都中央卸売市場）

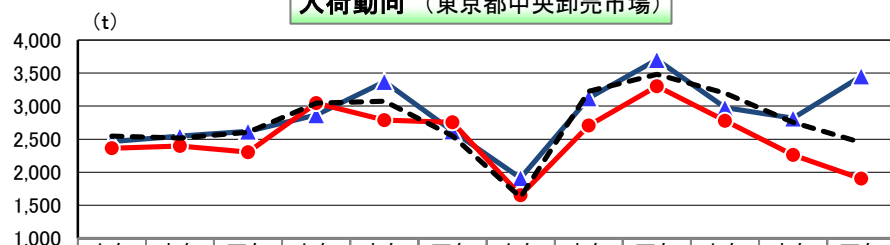


	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
26-27年	224	242	267	256	290	325	360	271	274	281	281	321
27-28年	273	277	287	315	300	327	395	301	331	336	321	336
平年	255	263	273	268	272	313	359	282	275	298	355	343

【ばれいしょ】（主な産地：北海道、長崎）

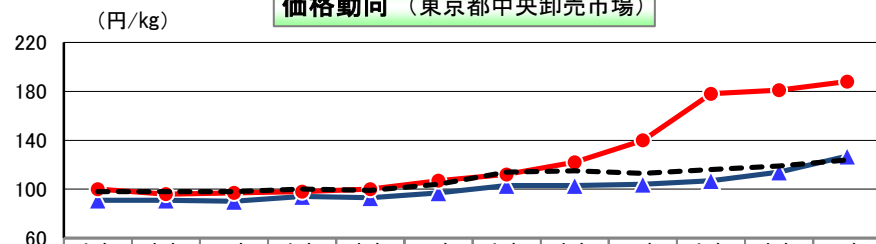
- 入荷量については、11月は主産地である北海道産が豊作傾向であったものの、前年を下回る入荷となった。12月は貯蔵物の出荷となり、中旬は多かった前年を下回った。1月以降、長崎産において植え付け時の降雨、肥大期の干ばつ及び天候不順による小玉傾向などにより、前年及び平年を下回って推移した。
- 価格は、1月中旬までは、概ね平年並みで推移したが、1月下旬以降、旬を追うごとに値を上げ平年を上回り、入荷が順調で安値であった前年も上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
26-27年	2,467	2,547	2,619	2,867	3,371	2,623	1,915	3,123	3,703	2,976	2,817	3,455
27-28年	2,364	2,398	2,303	3,046	2,788	2,756	1,652	2,707	3,301	2,778	2,262	1,904
平年	2,549	2,518	2,605	3,045	3,075	2,553	1,622	3,224	3,480	3,197	2,756	2,448

価格動向（東京都中央卸売市場）

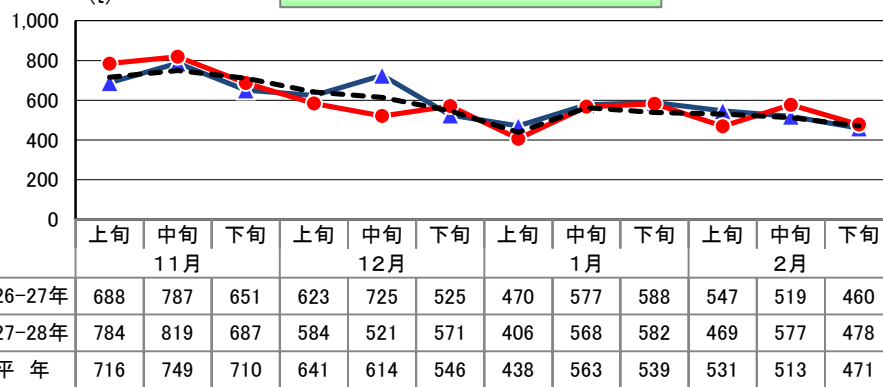


	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
26-27年	91	91	90	94	93	97	103	103	104	107	114	127
27-28年	100	96	97	98	100	107	112	122	140	178	181	188
平年	98	98	98	100	99	104	114	115	113	116	119	124

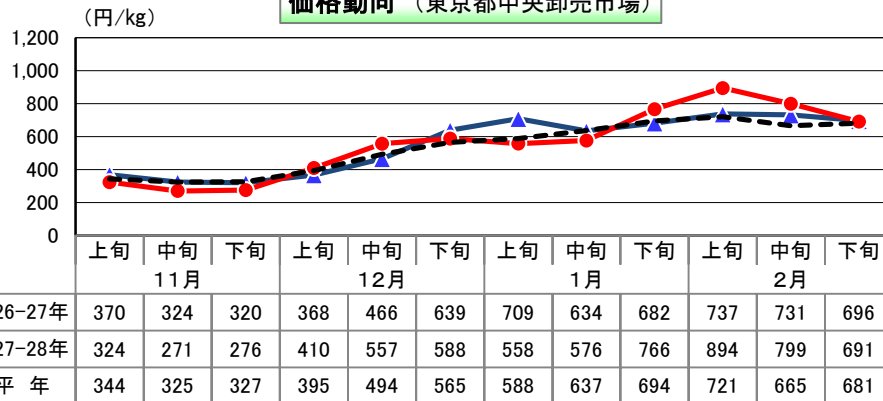
【ピーマン】（主な産地：宮崎、高知、茨城）

- 入荷量については、11月は宮崎産において、天候に恵まれ中旬までは前年を上回って推移したが、下旬には天候不順で入荷が減少したことから前年を下回った。12月上中旬は、宮崎産において日照不足による花落ちなどが見られ、平年を下回って推移した。その後は、概ね平年並みで推移した。
- 価格は、期間を通して緩やかな上げ基調で推移し、1月上旬は平年並みであったが高値であった前年を下回り、1月下旬以降は、上げ基調となり平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



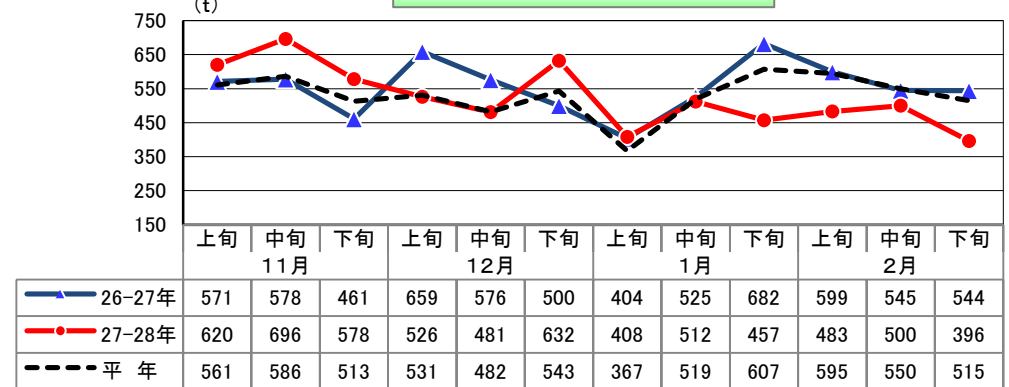
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ほうれんそう】（主な産地：群馬、茨城、千葉）

- 入荷量については、11月は主産地において病害の発生もなく生育が順調であったことから、前年及び平年を上回って推移した。12月上中旬までは、平年並みで推移したが、主産地の生育が順調であった前年を下回り、下旬は低温で少なかった前年を上回った。1月下旬以降、群馬産における降雪と寒波の影響による生育停滞で前年及び平年を下回って推移した。
- 価格は、11月以降、年内の気温も高めで生育順調であったことから下落するなど平年を下回って推移した。1月下旬以降は、主産地からの入荷が減少したことから平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



価格動向（東京都中央卸売市場）

